

参加者募集

江戸前ESD ふくしまワークショップ 福島海と魚を知ろう いわき市下神白のウニ・アワビ漁業

主催：東京海洋大学 江戸前ESD協議会

福島原発事故で放出された放射性物質が水産物から検出され、魚食の安全性に対する不安と議論は高まっています。でも、これまで福島で何の漁業がどのように営まれていたのか、また、漁業者の方々が今、どのような思いでいらっしゃるのかについて知る機会はほとんどありません。

このワークショップでは、福島海と魚について漁業関係者と研究者からお話を聞き、参加した全員で話し合いながら、人が海にダイナミックに関わる「漁業」を考えていきたいと思えます。

今回は、いわき市下神白（しもかじろ）で長年、ウニ・アワビ漁を営んでいる漁業者の方と福島県水産試験場の研究者に語っていただきます。また、3.11以来、福島沖および沿岸の海洋生態系における放射性物質の分布を調査している東京海洋大学の研究者にもお話しいただきます。

■ 期日：2012年1月28日(土)

13時開場、13時30分～17時(予定)

■ 場所：東京海洋大学(品川キャンパス)

白鷹館 2階 多目的ルーム-1

■ 参加費：無料

■ 定員：30名(18歳以上)

← 必ずご本人様がお申し込みください。

■ お申込みは、FAX/電子メール/郵便でお願いします。

FAX：03-5463-0574(裏面に申込用紙があります)

電子メール：kawabe*kaiyodai.ac.jp(*を@にして下さい)

郵便宛先：〒108-8477 東京都港区港南4-5-7
東京海洋大学 海洋科学部 川辺研究室

■ お申込み期限：2012年1月13日(金) 必着

← お問い合わせは 電話 03-5463-0574(川辺)まで。

← 定員を超えてお申し込みいただいた場合、ご参加いただけないこともあります。どうぞご了承ください。

江戸前ESD ふくしまワークショップ 福島の海と魚を知ろう いわき市下神白のウニ・アワビ漁業

← 話題提供 →

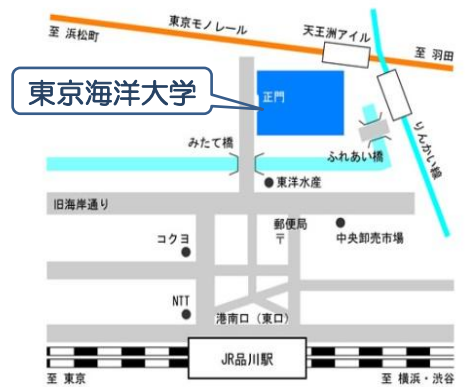
《内についてお話しいただきます。》

馬目 祐市（まのめ・ゆういち）さん 《いわき市下神白の採鮑（さいぼう）漁業》
福島県立小名浜水産高校卒業と同時に、アワビやウニを対象とする家業の採鮑漁業を継いで30年。下神白（しもかしろ）採鮑組合長、いわき市漁業協同組合監事。

平川 直人（ひらかわ・なおと）さん 《アワビやウニなどの磯根資源管理》
福島県いわき市出身。東京海洋大学大学院博士後期課程修了。博士（海洋科学）。専門は海洋資源生態学。現在、福島県沿岸のアワビやウニなどの磯根資源を研究している。福島県水産試験場栽培漁業部研究員。

神田 穰太（かんだ・じょうた）さん 《福島沿岸生態系の放射性物質の分布》
専門は化学海洋学。大学院・助手時代を東大海洋研究所で過ごし、1994年から静岡大学に勤務。2000年に東京水産大学に赴任して現在に至る。海洋における窒素循環過程を中心に研究しているが、3.11以来、福島沖および沿岸で放射性物質に関する海洋環境調査もおこなっている。東京海洋大学教授、理学博士。

- 東京海洋大学・品川キャンパス（〒108-8477 東京都港区港南4-5-7）へのアクセスは右図をご覧ください。
- 交通手段
 - ・ JR線・京浜急行線 品川駅港南口(東口)から徒歩約10分
 - ・ 東京モノレール天王洲アイル駅から「ふれあい橋」を渡り正門まで約15分
 - ・ りんかい線天王洲アイル駅から「ふれあい橋」を渡り正門まで約20分
- 都合により場所と内容が変更になる場合があります。



江戸前ESD ふくしまワークショップ 参加申し込み用紙 FAX：03-5463-0574

このお申し込み内容は、本ワークショップ運営のためにのみ使わせていただきます

氏名	ふりがな	年齢（該当する数字を○で囲んでください） 10・20・30・40・50・60・70 歳代
住所	〒	
電話番号	電子メールアドレス（もし、お持ちでしたら） @	

✎ご参加にあたっての期待をひと言ご記入ください。お申し込み多数の場合、選考の参考にさせていただきます。